



D.REPORT

第98期年次報告書

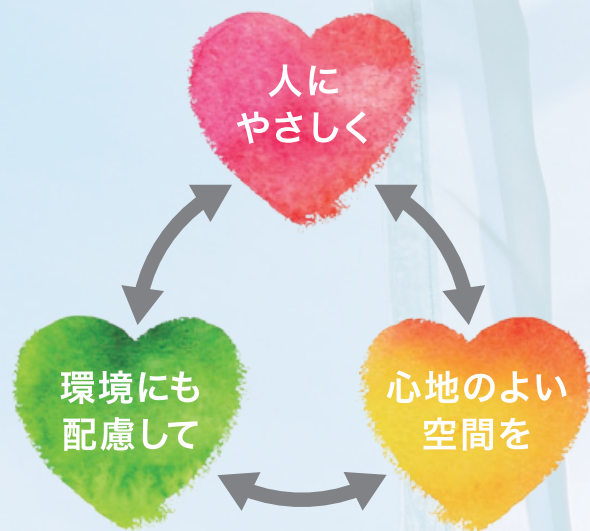
平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



大建工業株式会社

証券コード 7905

くらし価値、創造します。



家族がいて、笑い声が部屋に響く。
そんな当たり前の生活にこそ、
なにより大切な価値がある。
そのために住まいは、
安全・安心でなければならないし、
家族一人ひとりにとって
心地よくなければならない。
自然の恵みを大切に、
環境にもやさしい健康な暮らしを
私たちはお届けします。

「くらし価値」創造企業

DAIKEN

株主の皆様へ To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第98期連結会計年度（平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで）における当社グループの事
業の概況をご報告申し上げます。

取締役社長
億田 正則



当連結会計年度のわが国経済は、政府、日本銀行による
各種政策の期待感から、株高が進行し、企業収益及び個人
消費が改善するなど、緩やかながら景気が回復する環境と
なりました。

住宅市場におきましては、景況の改善に加えて、金利先
高観や消費税増税を見越した住宅取得マインドの上昇を受
け、新設住宅着工戸数は前年を大きく上回る水準で推移し
ました。

このような経営環境のもと、当社グループは、想定を上
回る好調な国内需要に対して安定した製品供給に努め、売
上を順調に拡大することができました。また、中期経営計
画において拡大市場と位置づけているリフォーム市場、海
外市場、産業資材分野及びエンジニアリング市場の攻略を
進めました。

利益面においては、輸入製品や原材料価格の高騰に対
してコストダウンを進め、粗利益を確保しました。一方、販
管費につきましては、二次化粧板の不具合による補修費用
の計上などにより、増加しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,803億
92百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益35億77百万
円（前年同期比24.0%減）、経常利益50億25百万円（前
年同期比11.4%減）、当期純利益25億46百万円（前
年同期比93.1%増）となりました。

今後につきましては、金融資本市場の変動や世界景気の

下振れ、為替の変動や原油高による原材料コストの高騰に
注意が必要であります。また、平成26年度の前半におきま
しては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が予想され、
上向いている国内景気への影響が懸念されます。新築住宅
市場においても、各種政府政策に加え、さらなる消費税増
税や金利・資材価格・工事費等の先高観による住宅取得マ
インドの向上はあるものの、新設住宅着工戸数の減少は避
けられない状況が予想されます。一方、リフォーム市場に
おいては、改修時期を迎える住宅ストックの増加や政府政
策等により、大幅に縮小することは無いと予想されます。

当社グループにおきましては、中期経営計画に基づき、
拡大・成長市場に対しさらなる積極的な経営資源の投入を
行い、経営体質を強化してまいります。リフォーム市場では、
ショールームを中心とした消費者目線での営業展開と材工
受注体制の強化を図ります。海外市場では、ASEAN地域で
の販売拡大を推進いたします。産業資材分野では、MDFを
中心としたエコ素材の安定供給に努め、新規用途拡大、新
素材開発を進めてまいります。エンジニアリング市場では、
従来の天井・内装工事中心から工事範囲を広げ、業容の拡
大を図ります。

体質強化としては、物流体制のさらなる改革推進や調達
コストの見直しにより、利益の最大化を図ります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を
賜りますようお願い申し上げます。

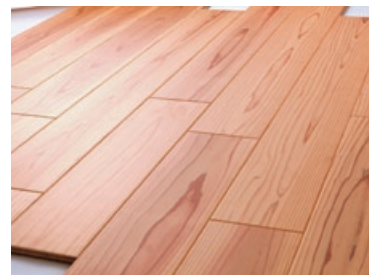
売上構成比

取扱商品

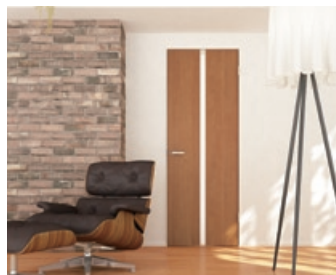
業績の概要

住空間事業

54.6%



▲無垢が持つ風合いを再現した最高級グレードの床材「日本の樹 至高」



▲ドア・床・収納・階段をトータルコーディネートできるDAIKENの新定番シリーズ「hapia (ハピア)」



売上高
935億52百万円
12.5%増



経常利益
53億14百万円
82.3%増

床材を中心とする内装材事業につきましては、マンション・賃貸住宅・分譲戸建市場での採用が増加するとともに、高機能床材を中心にリフォーム市場での売上が拡大しました。室内ドア、収納や造作部材を中心とする住機製品事業につきましては、好調な新設住宅着工とリフォーム物件での採用増加を受けて、売上を伸ばしました。

また、上質な住空間を提案する新製品「hapia(ハピア) シリーズ」や国産樹種を表面化粧材に採用した内装建材「日本の樹シリーズ」の最高級グレードフローリング「至高」を新たに発売し、こだわりのある消費者への提案を強化しました。さらに、高齢者住宅向け建材「おもしろシリーズ」の製品を拡充し、同市場での売上拡大を図りました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高935億52百万円（前年同期比12.5%増）、経常利益53億14百万円（前年同期比82.3%増）となりました。

エコ事業

35.1%



▲床用MDFの需要増加と合板代替材料としての採用が進むMDF



▲インテリア畳「ZIPANG (ジパング) こち和座」



売上高
601億84百万円
27.0%増



経常損失
5億44百万円
前年同期は経常利益
25億96百万円

エコ事業につきましては、素材を中心に順調に売上を伸ばしました。MDFは、床用MDFの需要増加と合板代替材料としての採用が進み、ダイライト、インシュレーションボードは、好調な新設住宅着工による需要増に加え、新たな顧客への採用や用途開発の推進により、売上を拡大しました。また、畳おもてにおきましては、機械抄き和紙を原材料とする当社の製品特長が、安心・安全と耐久性においてお客様から好評を得ており、販売・生産の両体制を強化することで順調に売上を伸ばしました。一方、二次化粧板の不具合による補修費用の計上などにより、収益は悪化しました。

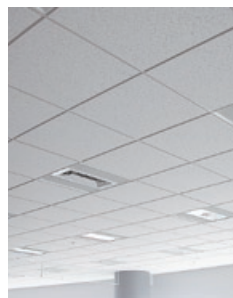
この結果、当連結会計年度の業績は、売上高601億84百万円（前年同期比27.0%増）、経常損失5億44百万円（前年同期は経常利益25億96百万円）となりました。

エンジニアリング事業

10.3%



▲システム天井/ラインタイプ



▲グリッドシステム天井



売上高
177億14百万円
1.9%減



経常利益
3億2百万円
58.4%増

マンション・ビル・店舗市場につきましては、首都圏・近畿圏における大型受注物件の竣工により安定した売上を確保しました。また、職人不足などによる原価高騰を受け、利益重視の選別受注と現場ごとの管理体制を強化するとともに、技能工の確保に努め、利益の拡大を図りました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高177億14百万円（前年同期比1.9%減）、経常利益3億2百万円（前年同期比58.4%増）となりました。

秋葉原ショールームリニューアル 将来を考えたリフォーム「備えるリモデル」空間を新設!

平成26年3月21日、DAIKENショールームで全国初となる「備えるリモデル」空間が、秋葉原に誕生しました。「備えるリモデル」とは、TOTO、DAIKEN、YKK APの3社が提唱するアクティブな高齢者を対象としたリモデルコンセプト。現在の暮らしのお困りごとを解決する「before → after」だけでなく、その後の身体や環境の変化にも配慮し、「future (将来)」までを考えた新しいリモデルのご提案です。

新設展示では、夫の退職を機に大規模リモデルを行う夫婦をモデルケースとしており、セカンドライフを満喫するための趣味の部屋を充実させつつ、「滑りにくい床材」や「開口巾の広い吊り戸」を採用するなど、最終的な住まい (future) に備えたりモデルプランをご紹介します。「しんせつ」「あんしん」「こちよい」の3つをテーマに、いつまでも快適に楽しく暮らせるリモデルをご提案しています。



国産材を積極活用 「富山県産スギ不燃パネル」が新幹線駅舎に採用

現在、国内の森林資源は十分に活用されておらず、政府は「森林林業再生プラン」を作成するなど、木材自給率の向上を目指しています。「環境配慮」を経営理念に掲げる当社では、二酸化炭素の吸収源である森林の整備や、木材自給率の向上に貢献するため、国産木材の積極的な活用に取り組んでおります。その一環としてこの度、富山県産スギを活用した不燃パネルを開発※。公共建築物への県産材活用を推進している富山県に提案した結果、平成26年度末までに開業が予定されている北陸新幹線・黒部宇奈月温泉駅構内の内装壁面への採用が決定しました。

なお、平成26年6月の新製品では、北海道産トドマツを基材に活用した普及タイプの床材をラインナップ。また、三重県産材を活用した床材の開発にも取り組んでおります。

※「富山県産スギ不燃パネル」は、富山県農林水産総合技術センター木材研究所との共同開発です。



注目の新製品 (2014年2月)

一般消費者向け インテリア壁材「オトピタR」を新発売

吸音性に優れた「オトピタR」は、リビングなどの壁に取り付けることで、気になる家事の音などの耳障りな高音の響きを和らげる、一般消費者向けのインテリア壁材です。専用ピンを刺すだけの簡単取り付け、カラフルな12色対応で、内装とのコーディネートを楽しみながら、快適な音環境の実現にお役立ていただけます。



注目の新製品 (2014年6月)

業界初!の開閉機構 介護を想定したトイレ用ドア「ひきドア」新発売

引戸と開き戸の要素を組み合わせ、業界初の新しい開閉機構を用いて、広い開口を確保するトイレ用ドア「ひきドア」。車いすでの入室や介助が楽に行え、また、トイレのメンテナンスやお掃除もしやすくなります。車いす利用や在宅介護を目的としたリフォーム時には、広さはそのまま大きな開口が確保できるため、トイレ空間を拡張するなどの大掛かりな工事が不要となります。高齢者だけでなく、共に生活される方や介護する方の健やかで快適な生活を支える、画期的な新製品です。



■ 連結貸借対照表(要旨)

科目	前連結会計年度 平成25年3月31日現在	当連結会計年度 平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産	71,889	75,652
固定資産	59,596	60,139
有形固定資産	38,549	38,451
無形固定資産	2,192	2,345
投資その他の資産	18,853	19,342
繰延資産	132	99
資産合計	131,618	135,890

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 平成25年3月31日現在	当連結会計年度 平成26年3月31日現在
負債の部		
流動負債	64,904	64,978
固定負債	26,843	29,492
負債合計	91,747	94,471
純資産の部		
株主資本	33,894	35,499
その他の包括利益累計額	2,107	1,655
少数株主持分	3,868	4,264
純資産合計	39,870	41,419
負債純資産合計	131,618	135,890

■ 連結損益計算書(要旨)

科目	前連結会計年度 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	当連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	158,153	180,392
売上原価	119,121	137,693
売上総利益	39,031	42,699
販売費及び一般管理費	34,327	39,121
営業利益	4,703	3,577
営業外収益	1,834	2,193
営業外費用	869	745
経常利益	5,669	5,025
特別利益	2,091	106
特別損失	5,387	514
税金等調整前当期純利益	2,373	4,617
法人税等合計	487	1,699
少数株主損益調整前当期純利益	1,885	2,917
少数株主利益	566	371
当期純利益	1,318	2,546

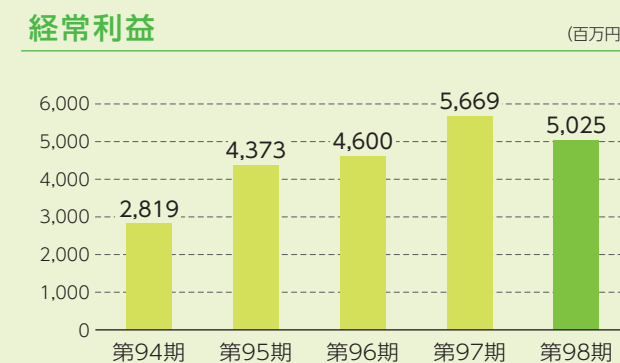
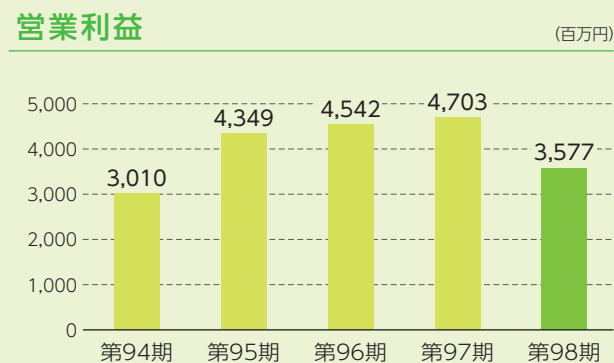
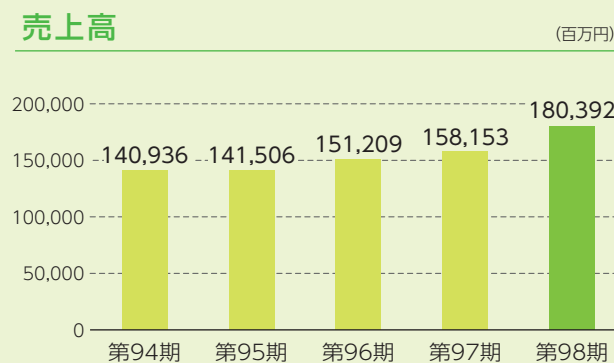
(単位:百万円)

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	前連結会計年度 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	当連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,624	9,663
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,033	△5,168
財務活動による キャッシュ・フロー	224	△1,054
現金及び現金同等物に係る 換算差額	75	60
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	891	3,500
現金及び現金同等物の期首 残高	9,630	10,596
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	74	—
現金及び現金同等物の 期末残高	10,596	14,096

(単位:百万円)

■ 連結業績の推移



■ 会社の概要 (平成26年3月31日現在)

設立年月日 昭和20年9月26日

資本金 131億5,003万9,080円

本社及び事業所

本店 富山県南砺市井波1番地1

本社大阪事務所 大阪市北区堂島1丁目6番20号

東京事務所 東京都千代田区外神田3丁目12番8号

主要な営業所 札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡、シンガポール

販売会社 大建阿美呢体(上海)商貿有限公司(中国)
C&H株式会社(東京、大阪)

国内生産工場 三重ダイケン株式会社(津市)
株式会社ダイフィット(鳥取県倉吉市)
株式会社ダイウッド(三重県伊賀市)
セトウチ化工株式会社(岡山市)
井波大建工業株式会社(富山県南砺市)
富山住機株式会社(富山県砺波市)
岡山大建工業株式会社(岡山市)
東部大建工業株式会社
(茨城県高萩市、福島県会津若松市)
株式会社ダイタック(岡山市)

海外生産工場 大建工業(寧波)有限公司(中国)
DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED
(ニュージーランド)
DAIKEN SARAWAK SDN.BHD. (マレーシア)
DAIKEN MIRI SDN.BHD. (マレーシア)

■ 役員 (平成26年6月27日現在)

取締役 会長	澤木良次
取締役 社長	億田正則
取締役 副社長	金坂和正
取締役 副社長	今村喜久雄
取締役	山中健司
取締役	山本谷達夫
取締役	加藤智明
取締役	照林尚志
取締役	相原隆
監査役	伊藤章倫
監査役	島田睦博
監査役	蓮沼彰夫
監査役	水野浩児
執行役員 社長	億田正則
執行役員 副社長	金坂和正
常務執行役員	今村喜久雄
常務執行役員	山中健司
常務執行役員	加藤智明
常務執行役員	照林尚志
常務執行役員	冬木敏夫
常務執行役員	畑島正志
常務執行役員	播磨哲男
常務執行役員	北川隆雄
常務執行役員	吉田弥寿郎
執行役員	杉本寛司
執行役員	長谷川賢一
執行役員	布施茂
執行役員	佐藤憲
執行役員	花田修
執行役員	吉田和雅

■ 株式の状況 (平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数 398,218,000株

発行済株式の総数 130,875,219株

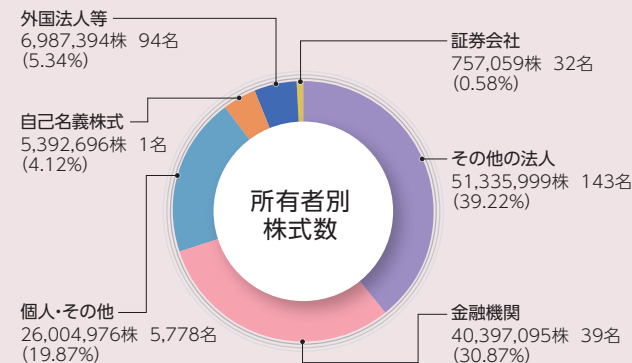
株主数 6,087名

■ 大株主の状況 (平成26年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	31,948,000	25.5
株式会社三井住友銀行	4,934,903	3.9
住友生命保険相互会社	4,656,000	3.7
三井住友信託銀行株式会社	4,440,000	3.5
住友林業株式会社	3,191,000	2.5
大建工業取引先持株会	3,163,000	2.5
日本生命保険相互会社	3,068,346	2.4
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	2,868,000	2.3
丸紅株式会社	2,821,942	2.2
三井住友海上火災保険株式会社	2,608,000	2.1

(注) 1. 当社は、自己株式を5,392,696株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 株式分布状況 (平成26年3月31日現在)



当社のホームページでも
詳しい情報を開示しております。

<http://www.daiken.jp/>

大建工業 検索

TOPページ
「会社情報」をクリックしてください。

「会社情報」の
「株主・投資家の皆様へ」
をクリックしてください。

情報サイトの一部

「株主・投資家の皆様へ」では、社長メッセージをはじめ、決算短信・業績ハイライト・有価証券報告書などの各種財務情報や、IRイベント情報などの豊富なデータをご覧いただけます。ご利用ください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

**株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人
事務取扱場所** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネットページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設いたしております。
特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載する)
<<http://www.daiken.jp/>>

上場金融商品取引所 東京証券取引所



DAIKEN
<http://www.daiken.jp/>
大建工業株式会社